

★議員さんのイメージ

司会…まず、議員に対してどんなイメージを持っていますか。

小沼…やっぱり、いいもの食って、リムジンに乗っているイメージ。お金をいっぱい持っていて、自分とは全然違うと思うから近寄りたいたいな。

米田…そうだよ。例えば、議員が僕たちに連絡してくれるとうれしいよね。たまに市役所の人は施設に来るけど、議員さんも施設に来て、僕たちと接するといいい。それと、議員さんと普通に握手したりして交流できたらいいと思うね。施設の事務所をきれいにしてくれとか、茅ヶ崎の市役所をきれいにしてくれとか、やってほしいことを簡単に言えるといいな。

司会…諸石さんはどんなイメージを持っていますか？

諸石…よくわからない人たちだと思ってる。選挙のときだけ道にたくさん並んで演説して、そのとき言っていたことが現実にできているかというできていない。だから、誰が議員になっても変わらないのかなって。政治についてわかりやすく、新聞とかテレビだけではなくて、もっと議員さんが街に出て、直接みんなに説明してもいいんじゃないかな。

司会…諸石さんは、最近成人して選挙権を得ましたよね。政治に対する意識は変わりましたか？

諸石…正直、自分が投票してもあまり意味がないと思ってるから、選挙には1度も行ってないです。友だちも俺と同じ考えを持っているから、選挙には行っていいはず。

司会…小沼さんは選挙についてどう思いますか？

小沼…正直、政治家に興味がないというか……。もっとおもしろい話をしてくれたら興味があると思うけど。

米田…政治家って雰囲気がかたいよね。僕も、政治家って興味なかったけど、今年は議員さんと障害のある人について話しをしてみたいな、と思っっています。もっと議員に知的障害者の現実を見てもらいたい。

藤野…あの……。いいですか？ みなさんの持っている議員のイメージですが、例えば、私は、全然違うんですよ。寝る時間もごはんを食べる時間もなかなかないし、読む書類もたくさんあって……。議員になると楽しいことより辛いことの方が多いんです。それでも議員を続けていられるのは、政治家には現実を良い方向に変えられる力があるからなんです。障害のある方の福祉も必ず良い方向に変えていかれるんですよ。

和田…私は以前、福祉の仕事をしていました。そのとき、グループホームを作りました。しかし、赤字で利用者の負担も多かったので、決まりを変えるようにずっと訴えてきた。だけど、変わらなかったんです。それが議員になって、「この決まりを変えたい」と訴えたらすぐに変えることができました。

諸石…だけど、やっぱり「こう変えてもらいたい」という部分はまだまだたくさんある。だから、そういう障害のある人の声を市の議員さんがもっと聞いてくれればいいのにな。

江口…逆に、議員とどんなふうにもコミュニケーションをとりたいですか？

諸石…まずは、座談会みたいなものを開いて、障害のある人がどういう思いで生活しているのかを聞いてほしい。これは障害をもっている誰もが感じていると思うよ。

藤野…僕は週に1度自由に語り合える場を設けさせてもらっています。そこには毎回障害のある人がたくさんいらっやいます。和田さんも江口さんも、ふだんから障害のある人とたくさんお話をしていると思えますよ。

和田…僕らだけじゃなくて、障害のある人の話を聞いてくれる議員ってどこの町にも必ずいるはずですよ。だから、議員のことを遠い存在だと思わないで、「困っていること」「してほしいこと」があったら、直接議員に話しに行ってくださいと思いますよ。

諸石…うーん……。自分たちから議員さんのところに話に行くことは、やっぱり障害のある人には難しいし、何ていうのかな……。苦手なんだよね。まず、誰に話していいのかわからないし、「調べれば？」って言われても、障害のある人でインターネットを使える人も少ないし。議員さんのところに行くのが面倒くさいっていう気持ちも出てくる。議員さんの方から、話し合いをする場があることを知らせてくれたら「ああ、こういうこともやっているんだ」って、議員さんのところに話にいける人もいると思う。

藤野…確かにそうですね。事務所の場所も電話番号も、携帯の番号だって公開してはいるんですけどね……。

江口…出会うの場を作っていくことも大事ですが、やっぱり私たち議員の方からも障害のある人がどんなことを求めているかを知るために足を運ばないといけないのかもしれないですね。